

## CO<sub>2</sub>削減

### 調達から物流までの工程でCO<sub>2</sub>排出量を削減

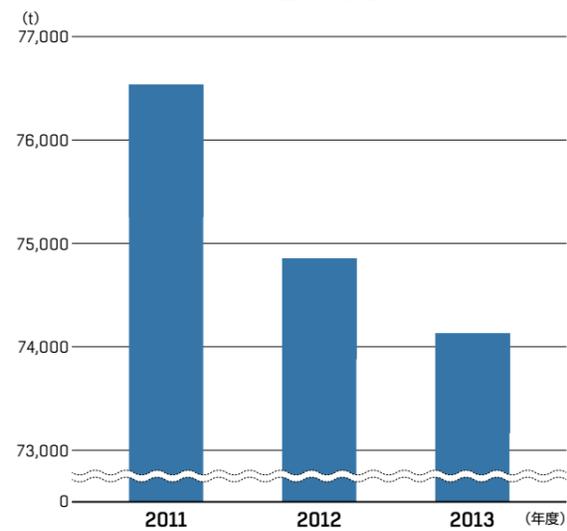
カシオは、材料の調達から生産・物流、製品の使用・廃棄に至るまで、あらゆるプロセスでCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。

物流では、欧州や日本国内で物流拠点を統廃合し、貨物の輸送距離を短縮しました。中国からの北米向け貨物は、販社倉庫を通さず販売店へ直送するルートを確認。インドでは、新倉庫を南部の都市に新設し、輸送距離を短縮することでCO<sub>2</sub>排出量を6割削減しました。また国内では、輸送手段をトラックから環境負荷の少ない鉄道にシフト。製品パッケージにおいても、形状や緩衝材の工夫、同梱する内容物の見直しなどで小型・軽量化を図っています。

さらには、国際基準「スコープ3<sup>\*</sup>」に基づいた算定を行い、サプライチェーンにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減につなげていきます。

※ スコープ3: サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量を算定する基準。製品の使用・廃棄、輸送、従業員の出張・通勤、リース資産、投資等の15のカテゴリーで構成されています。「スコープ1」は企業の燃料等の使用に伴う直接排出、「スコープ2」は外部から購入する電力等の使用に伴う間接排出です。

#### 物流におけるCO<sub>2</sub>排出量の変化



## リサイクル

### 再生資源を積極的に活用

カシオは、地球環境保全と資源の有効活用を図るため、使用済みとなった食品トレイなどから再生されたリサイクルプラスチックを製品の材料として積極的に活用しています。

電卓では、本体ケースや電池ふたなどに、再生率100%のプラスチックを使用しています。また、レジスターや電子楽器の一部にもリサイクルプラスチックを利用するなど、環境配慮型のモノづくりに取り組んでいます。



## 化学物質検査

### 法規制を反映した基準を遵守

電気・電子製品に含まれる化学物質を規制する法律が各国で次々に制定され、既存の規制も年々強化されています。

カシオは、製品に含まれる化学物質に関する法規制を集約して「カシオグリーン調達基準書」に反映させています。資材購買部門では、部品・材料の調達先に対して、この基準書を遵守させています。開発設計部門においては、製品を構成する全ての部品・材料が同基

準書に適合しているかどうかをデータベースで確認しています。さらに、生産工場においても、量産部品・材料をチェックし、化学物質に関する法規制が遵守できるようにしています。

環境配慮型商品も積極的に開発しています。プロジェクターでは、世界で初めて不可欠とされていた高圧水銀ランプを使わずに高輝度を実現。全製品で「水銀ゼロ」を達成しました。



工場で行われている徹底した化学物質検査



水銀ゼロのプロジェクター

# Environmental Performance

## 【環境性能】

「小さく」「薄く」「軽く」「ローパワーな」製品を提供してきたカシオには、環境負荷低減の考え方が根付いています。そして今も、持続可能な社会の実現に向け、積極的な環境経営に取り組んでいます。

### Employee's Voice

#### リサイクルや電力使用量の削減を推進

カシオアメリカ / John Conway

環境対応については、広範囲にわたってリサイクル活動を実施するとともに、一般ごみの削減やコピー用紙の使用量・電力使用量の削減などに取り組んでいます。一般ごみは、3年間で86トンから34トンに、コピー用紙の使用量は4年間で16トンから10.3トンに削減できました。

